



[様式第3号]

資料提供年月日	令和5年1月12日	
問い合わせ先	課名	救急課
	電話	直通 234-9967 内線 3778
担当者	職名・氏名	課長 頼定 誠
	職名・氏名	課長補佐 日下靖也

広 報 連 絡

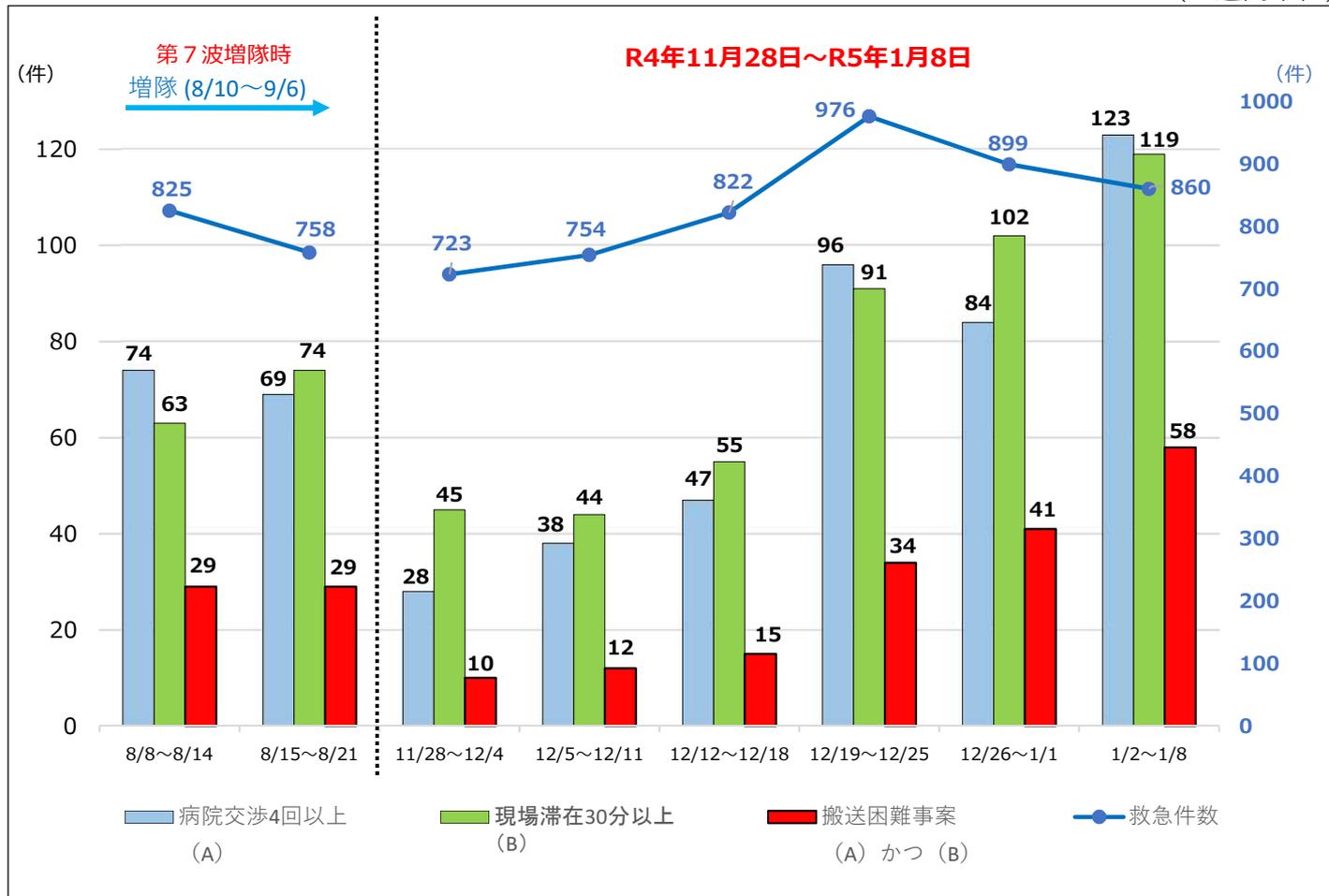
- 件名 救急搬送がピンチ！ 救急車の適正利用をお願いします
- 趣旨 救急件数増加などに加え、医療機関における救急受入れ状況の悪化に伴い、1月2日～8日までの期間において、救急搬送困難事案が過去最高となったため、市民の皆さんに救急車の適正な利用などを呼びかけています。
- 日時 令和5年1月10日（火）から当分の間
- 内容 現在、救急隊を増隊して対応しているところですが、1月2日～8日の1週間で、救急搬送困難事案が過去最高の58件を記録するなど、病院へすぐに向かえない状況が続いています（病院交渉回数25回、現場滞在時間153分の事案あり）
救急医療提供体制の悪化を防ぐため、「救急車をタクシー代わりに利用しない」「緊急性がないときは、相談窓口などに相談する」など救急車の適正利用にご協力をお願いします。
- 添付資料 「救急搬送困難事案の推移」（裏面参照）

救急搬送困難事案の推移 (数値は速報値)

令和5年1月11日
広報連絡資料
消防局警防部救急課

現状

(1週間単位)



救急出動件数の急増に加え、救急医療提供体制の悪化により、救急搬送困難事案が過去最高となった。

皆さまへのお願い

現在、救急搬送困難事案が過去最高となり、病院へすぐに向かえない状況が続いています。緊急性が高い方へ救急車を1秒でも早く届けるために、今一度この状況と救急車の適正利用について日頃から考えてみましょう。

■救急車の利用を迷ったら

◎岡山市消防局では岡山市内救急病院案内という電話相談窓口があります。

☎ 086-231-0119

◎救急車を呼ぶべきか判断ができないという時に、総務省消防庁が「Q助」というアプリケーションを提供しています。インターネットで「Q助」と検索すると確認できますので、迷ったら利用してみてください。